

でした。だけど、「よし今度こそ」と思って二回目にちょう戦しました。

今度は、何が何でも泳ごうと、思いま
した。いよいよスタートです。ぼくはい
きおいよく、足でかべをけてスタート
しました。最初の二十五メートルは、何
か波に流されているようなかんじで、ふ
わふわとけっこう楽に泳いでいました。

二十五メートルのターンをしようと思
った時「がんばれ」
と言う声がぼくの耳にとびこんでまし
た。

ぼくは、「みんなも、おうえんしてく
れているんだな。」と思うと、今までより



4年 向後さなえさん

プールのう会

九月七日は、プールのう会でした。

わたしは、クロールでタイムレースにちよ
う戦をします。いつもひら泳ぎのれん習
をしていました。だから、クロールは、
自信がありません。でもがんばってクロ
ールでちよう戦をします。

開会式が終わり、学年ごとの検定の時
がきました。一年生たちは、みんないっ
しょうけんめい泳いでいました。つぎに
二年生が泳ぎました。二年生には、わた
しの妹もいます。妹は、いつもより泳げ
ないようでした。わたしは、きんちよう
してあまり泳げなくなってしまうんじや
ないのかなと思いました。そのつぎは、

ももつとがんばろうと思いいっしょうけ
んめい手足を動かしました。

八十メートルぐらいで、だんだんつか
れてしまいました。ここで足をついたら
一回めと同じになってしまし、「が
んばれ。」とおうえんしてくれている先生や
友だちも、がっかりするだろうと思ひ
して、手と足を動かしました。あと二十
メートルもすごい遠いような気がしてき
ました。あと十メートルあと五メートル
とだんだん力が、ぬけていくようでした。
手と足をひっして動かしているのぼく
の体は、思うように進んでいないよう
でした。ゴールのプールのかべが、すぐそ

三年生の番になりました。「もうすぐわ
たしたち四年生の番だ。」と思うとわたし
は、きんちようしてきました。

いよいよ、わたしたち四年生の番にな
りました。わたしは、自分のコースのと
ころにならびました。ならばとさつきよ
りもつとドキドキしてきました。ドキド
キしているときのわたしは、いつも何を
考がえていいかわからなくなっていました
ます。わたしの頭の中は、ごちゃごちゃ
になってしまいました。つぎがわたしの
番というときになると今度は足もふるえ
てきました。プールのなかへ入ると、つ
めたくてふるえているのか、きんちよう
してふるえているのか自分でもわかりま
せんでした。

いろいろなことがわたしの頭をかけめ
ぐっているのにピストルの音がバンと
なりました。わたしは、いきおいよくか
べをけて、急いでスタートしました。
わたしの前をだれかが泳いでいました。

こに見えるのに、なかなかとどきません。
もうだめだと思つて手をおもいっきりの
ばしたらやつと、プールのかべに手がと
どきました。「やったあ。」やつと、百メ
ートルを泳ぎきることができたのです。

百メートルを泳ぎきった時は、足はス
タートした時より石のようにずしりと
重くなってしまいました。かたは上から
ず、手は力がぬけてしまったようでした。
ぼくの体は、すぐつかれていました
が、心は、とつてもすっきりとしていい
気もちでした。家にとんで帰つて、父や
母や姉や祖父や祖母、みんなにお教えた
いような気分でした。

わたしはがんばつてぬかそうと思いまし
た。でもなかなかぬかせません。わたし
の前の人もいっしょうけんめい泳いでい
るようでした。わたしは、それでもいっ
しょうけんめい泳ぎました。ターンをす
ると頭の中が、ガンとしていて何を考
えているかわからなくなつてしまいまし
た。わたしはただゴールをめざしていっ
しょうけんめい泳ぎました。手も足もフ
ルスピードで動かしているのにわたしの
体はまだ黄色のコースロープのところ
にいるようです。思つたほどスピードが
出ていないようです。やつと青いコース
ロープがありました。わたしは、最後の力を
ふりしぼつて力いっぱい泳ぎました。

ゴールにつくと係の人が一位と指で教
えてくれました。わたしのタイムは、五
十四秒五でした。一点は、とれたのです
が、四級にはなれませんでした。
でも、わたしは「せいっぱい泳いだ
んだからいいや。」と思いました。

ひかりまちの 風土記 ⑨

入定塚

小川台



江戸時代元禄の頃、小川台宝蔵寺の住
職(ゆうしやく)宥照は、派手な生活をしている村人を
改心させようと苦心していました。考え
ぬいた結果、宥照は衆生済度と五穀豊穰
を願い、生きながら穴に入ることを決意
しました。八月十五日の夜、村人の反対
を聞かず宥照は、穴に入り石の蓋(たか)をさせ
ました。穴からは数日、読経と鉦(かね)の音が
響いていましたが、いつしか聞こえなく
なつたということです。
今でも宥照の入った穴の跡(塚)には、
入定石と刻まれた五輪塔があります。